

第2号議案

広域機関システム 需給調整市場システム連携（三次①）対応及び
他機能改良（詳細設計～現地S I）に関する業務委託について
（案）

広域機関システムの制度対応である需給調整市場システム連携（三次①）対応及び連系線等利用計画管理機能に関わる機能改良は、基本設計までの先行工程が終了し、開発委託内容が確定したことから、後続工程である現地S Iまでの開発業務を委託する。

本件の委託にあたっては、電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約と個別契約の決裁権限（第288回理事会第4号議案）に基づき、下表に示す件名にて別紙1-1及び別紙2-1のとおり注文書を発行し個別契約を締結する。

表 契約概要

件名	広域機関システム 需給調整市場システム連携（三次①）対応（詳細設計～現地S I）に関する業務委託
目的	2022年4月に需給調整市場において週間商品である三次①調整力が追加されることに伴い、広域機関システムでは、需給調整市場システムで約定した三次①調整力の連系線可否判定を行い調整力枠として管理する機能が必要となる。また、電源トラブルに起因した差替により調整力枠の変更が生じた場合も容量登録可否の判定が必要となる。これらの開発仕様が確定したことから後続工程を実施する。
委託内容	詳細設計、プログラミング、試験（単体・結合・総合・品質保証）、立会試験、現地S I
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2022年3月18日
契約形態	委託（請負）
件名	広域機関システム 連系線等利用計画管理機能改良及び需給調整市場開始後の課題対応（詳細設計～現地S I）に関する業務委託
目的	2022年度以降、一般送配電事業者による広域需給調整において関西中国間連系線の連系線空容量を最大限に活用するために、ゲートクローズ時点のフェンス潮流値を計算して中国電力ネットワークへ送信する機能が必要となっている。これらの開発仕様が確定したことから後続工程を実施する。また、本年4月から運用開始した需給調整市場において、喫緊に必要な課題対応を併せて実施する。
委託内容	詳細設計、プログラミング、試験（単体・結合・総合・品質保証）、立会試験、現地S I
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2022年3月18日
契約形態	委託（請負）

以上

【添付資料】

別紙 1-1 : 注文書「需給調整市場システム連携（三次①）対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 1-2 : システム仕様書「需給調整市場システム連携（三次①）対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 1-3 : 価格検討書「需給調整市場システム連携（三次①）対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 2-1 : 注文書「連系線等利用計画管理機能改良及び需給調整市場開始後の課題対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 2-2 : システム仕様書「連系線等利用計画管理機能改良及び需給調整市場開始後の課題対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 2-3 : 価格検討書「連系線等利用計画管理機能改良及び需給調整市場開始後の課題対応（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託」

別紙 3 : 需給調整市場システム連携（三次①）対応及び他機能改良（詳細設計～現地 S I）に関する業務委託（補足説明資料）

別紙 1-1～1-3 及び別紙 2-1～2-3 は会計・調達業務の細則に関する規程第 23 条の規定に基づき非公表とする。

別紙 3 は情報管理規程第 4 条（情報の格付の区分）の規定に基づき非公表とする。